



海上の森ミニセミナー 第4回 開催記録

コケに魅せられコケ散歩

平成 28 年 9 月 24 日 (土) 13:30~15:00

- 1 開催場所 あいち海上の森センター 3階研修室 (瀬戸市吉野町 304-1)
2 話題提供者 コケ愛好家 のだ ふみ NPO 法人海上の森の会 会員
日本蘚苔類学会 会員

3 参加者数 21名

4 内 容

(資料及びパワーポイントで説明)

(1) コケってなあに

○コケの分類 (蘚類、苔類、ツノゴケ類) ○コケの形態 (主に蘚類) ○コケの特徴

仮根は水や養分を吸い上げる機能はなく、体を支持するためのもの。

コケは適度な日光を必要とするので、人の手が全く入らぬところより、人の手が入り管理されているところを好む種が多い。

溶岩等の土壌のないところにもまず最初に生え、土壌を形成し、他の植物の生育基盤になる。

他の植物の葉が展開しない2~5月頃に蒴を伸ばし、やがて胞子を放出する。

乾いてもすぐには枯れず、休眠し次の雨をまつ。

乾燥時と湿潤時と、見た目が異なる種も多く、図鑑で確認しても分かりづらい事がある (ヒノキゴケ参照)。



(2) コケの観察の仕方

○観察に必要なもの ○観察の注意点

○観察の実際

話題提供者が持参の乾燥したスナゴケに霧吹きで水をかけ、開く様子を観察した。

そのほか、アラハシラガゴケ、スギゴケ、コハウオウゴケ、ナミガタタチゴケ等を観察。



(3) 海上の森の蘚苔類

フィールドでは図鑑と照らして調べるが同定が難しい。

肉眼で分かりやすいのは、ヒノキゴケ、タマゴケ、ホウオウゴケ等。

海上の森におけるコケの分布と記録の方法（スマートフォン、ルーペ、GPS）。

これまで観察したアブラゴケ、オオミズゴケ、キヨスミイトゴケ、タマゴケ、ホウオウゴケ、ケチョウチンゴケ、ツルチョウチンゴケ、ヒナノハイゴケ等の解説。

コケは名前を調べるのに難しい面もあるが、「スギゴケについて調べてみよう」など、好きなコケをつくるのが知る近道。まずはマナーを守って行動することが大切。

5 主な質疑・応答

Q1 雌雄の植物体のサイズは異なるのか。

A1 ほぼ一緒だが、雄と雌が異株のものは様子が異なる。

Q2 コケを別のところに移植しようと考えている。どのようなことに留意すれば良いか。

A2 コケは現在生育しているその環境を好んで生えている。人が新たな場所に生やしたいと思って移植し、環境を整えたつもりになっても、多くの場合失敗する。どこにでも生えるが、生えてほしいところにはなかなか生えない。毎日、根気よく適度な水やりで、挑戦してみる。新たにその場に生えたものは、強い。

Q3 ツノゴケやスギゴケは今の時期、蒴が無くても葉の状態で分かるか。

A3 植物体の形態を知っていれば、分かる。ツノゴケは畑に多いため、サテライト周りにもある。スギゴケ、スナゴケは、海上の森にも群生する場所が多く、森の交差点に向かう道沿いに群生しているので手軽に確認できる。

コケに魅せられ コケ散歩

小さなコケの世界へ ようこそ！ 2016年9月24日

NPO 海上の森の会 会員
日本蘚苔類学会 会員 のだ ふみ

コケは、古来より日本人にとって癒しの対象でした。緑の固まりにしか見えなかったコケたちは、観察するほどに、日陰のジメジメした存在などではなく、しっとりした柔らかな肌触りや、その造形に驚かされます。海上の森のコケ散歩… その前に少しだけコケについて、お話ししましょう。

1 コケってなあに？

コケは3つに分けられます。

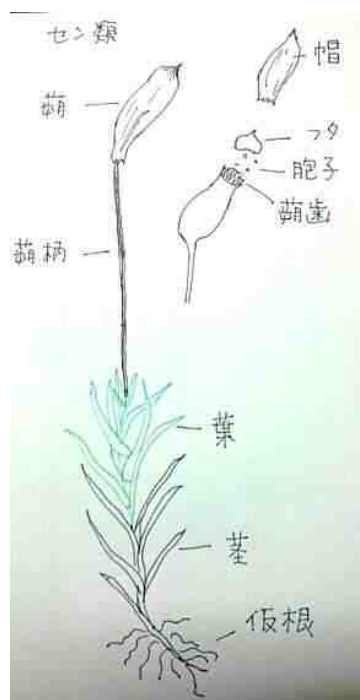
蘚類	スギゴケ	乾燥に強くカサカサした手触り
苔類	ゼニゴケ	ベタツとした柔らかなものが多い
ツノゴケ類	ツノゴケ	動物の角のような“さく”を持つ

まとめて^{せんたいるい}蘚苔類と呼び、日本だけで1800種が知られています。

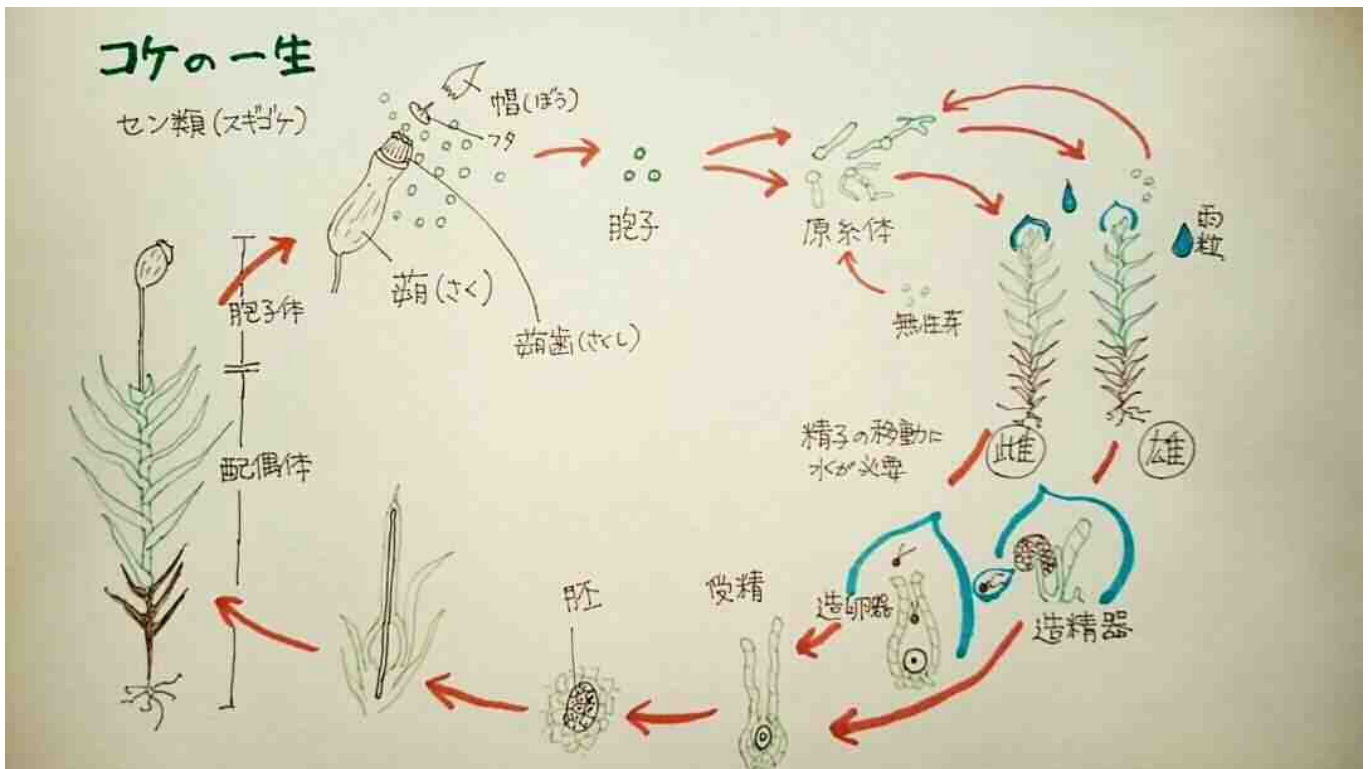
太古の海で誕生した藻類の仲間が進化し陸上に適応した最初の植物と考えられ、はるか昔からほとんど姿を変えることなく生き続けてきたと言われています。

◇ コケの特徴

- ① ジメジメした印象のあるコケは、光合成のため、実は日光は大切
- ② 根がなく、維管束を持たないが、身体中で水を受け入れる
- ③ カラカラに乾いても、すぐに枯れない
- ④ 胞子で増える クローンで増える



⑤ コケの一生



2 コケの観察の仕方

観察に必要なもの

1 ルーペ

2 デジカメ

3 フィールド図鑑

4 ピンセット またはゴム手袋

5 メモとペン

6 小さな霧吹き

7 サンプル用の小さなビニール袋



観察の注意点

1 人通りのある場所では、通路をふさがないように

2 立ち入り禁止の場所に入らない

3 里山や公園など、他の生き物たちの生息エリアなので、危険であることを常に頭におく

4 採集するときは、自然の恵みを分けて頂く気持ちと、生態系はもちろん、景観を乱さない配慮が必要

5 さわったら、必ず手を洗う

それでは、早速 スナゴケを観察してみましょう！

3 海上の森の蘚苔類

面積 530ha

標高 327m(物見山)

地質 1 花崗岩と砂礫層

2 庄内川水系矢田川支流海上川などの上流域で、200以上の湿地がある

2016年1月より、生育場所の撮影開始 795枚



北海上川付近 142枚

